

支笏湖ビジターセンター便り

2023年（令和5年）6月号 Vol.162

ヒメマス釣りシーズン到来



6月1日、待望の「ヒメマス釣り」が解禁になりました。この日の5時半は写真のように波もなく、ヒメマス釣りには絶好の天気。あちらこちらの船上で、ヒメマスが釣りあげられていました。



午前7時から行われる計量めがけて一斉に船がポロピナイの浜に集まってきました。

クーラーボックスに皆さんの顔に笑みがこぼれます。今年は幸先の良い水揚げでした。

8月までの解禁期間、豊漁のシーズンになることを祈らずにはいられません。



「支笏湖の森」遊歩道さんぽ

支笏湖温泉園地の遊歩道を歩いて見つけた
旬の自然を紹介するコーナーです

『支笏湖の初夏の風物詩』

ヒメマス漁も解禁になり、いよいよハイシーズンを迎える支笏湖。

新緑の園地には、ツツジ類が一斉に咲き、訪れる人達の目を惹いています。

そしてエゾハルゼミも鳴き始めました。このセミは北海道では最もポピュラーなセミのひとつで、5月下旬〜7月にかけて発生します。その声が「ミョーキン・ミョーキン・ケケケケケ・」と聞こえてきたら、夏が近いと実感します。

このセミの声を聴くと、実際の気温より少し暑い気がするのなぜでしょうか？



セミはどこにいるでしょう？

初夏の日差しが降り注ぐ園地は、エゾハルゼミの声で溢れます。実は、鳴くのはオスだけです。

支笏湖温泉
の気象支笏湖畔の気温・降水量
～気象庁アメダスによる
平年値と今年の観測～

気温(℃)

降水量(mm)

	平年値	今年		平年値	今年
5月上旬	8.2	10.1	5月上旬	50.2	13.5
中旬	9.7	10.8	中旬	42.9	37.5
下旬	11.7	12.5	下旬	50.8	16.5
6月上旬	12.7	13.4	6月上旬	45.3	129

4月から続く高温傾向は5月に入っても続き、同月の平均気温11.2℃は平年値より1.3℃高く、同月としては高い方から4番目でした。20.0℃超え初日は5月5日でほぼ例年並み。

5月中に日最高気温が25.0℃以上となる夏日が2014年から20年まで7年間続きましたが、21年以降今年も5月中の夏日はありませんでした。

支笏湖ビジターセンター職員が聞いたエゾハルゼミの初鳴きは5月23日で、過去5年間の平均とほぼ同じでした。

6月に入っても気温は高めで上旬の平均気温は平年値より0.7℃高い13.4℃でした。

ビジターセンターの
展示物紹介コーナー

『シマフクロウ』

展示スペース「森の世界」の主。巨大ウダイカンバの切株上に鎮座するシマフクロウ。

この個体は、1935年に恵庭岳山麓で捕獲されたものです。かつては支笏湖にもシマフクロウがいた証拠となる標本です。

アイヌ民族はシマフクロウを「コタンコルカムイ(=村を守る神)」と呼び、大切にしていたそうです。

6月のイベント報告

《親子Day!》森の滝へ行こう!

「七条大滝」自然観察Day

6月10日(土)、親子で参加するイベントが行われました。思わしくない天気予報を覆して、最終的に最高の天気になりました。

エゾハルゼミなどの昆虫、エゾアカガエル、カナヘビなど動物たちとの出会い、滝から流れる川の水生昆虫や魚たちの調査も行いました。

思い出に残る初夏のひと時になりました。

ビジターセンターのイベント
& 支笏湖の観光情報

■6/17(土)《支笏湖歴史・地史さんぽ》
【コケの回廊「楓沢」めぐり】

■6月25日(日)支笏湖湖水まつり
※湖水まつりの一環としてイベントを行います。
《自然ふれあい行事》
【木片や木の実を使って
「ネイチャークラフト体験」】

■7月22日(土)《支笏湖親子Day!》
【初めての親子登山!】
「イチャンコッペ山」に挑戦Day!】

支笏湖ビジターセンター運営協議会発行

〒066-0281 北海道千歳市支笏湖温泉番外地

TEL 0123-25-2404

HPアドレス <http://shikotsukovc.sakura.ne.jp>

【開館時間】 ※入館無料

4月から11月 午前9時から午後5時30分まで

12月から3月 午前9時30分から午後4時30分まで
(火曜日休館)

年末年始休館日 12月29日から1月3日まで

アクティブ・
レンジャー日記環境省支笏洞爺国立公園管理事務所
アクティブ・レンジャー(自然保護官補佐)
阿部 万純

国立公園の入り口には看板が立っていることをご存じでしょうか?写真は国道453号と道道78号の分岐に設置されている看板で、札幌方面から来る方に向けて支笏洞爺国立公園の入り口を示しています。ここ数ヶ月は雨風や除雪の影響などでペンキが薄くなったり端が欠けたりしてしまっていたのですが、このたび塗り直しました!ちなみに看板の色は、自然の風景に溶け込むようにこげ茶色が指定されています。そのため少し見つけづらいかもしれませんが、支笏洞爺国立公園の境目をぜひ探してみてください。